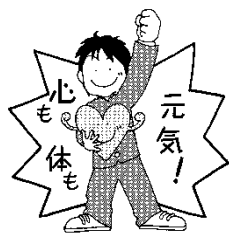


えがお



令和元年 12 月 10 日

大仁小学校 保健室

以前にもお伝えしましたが、低学年の児童でアタマジラミに感染したという報告を受けています。**アタマジラミは季節や衛生面に関係なく、いつでもだれにでも感染する可能性があります。きちんと駆除することが大切です**ので、こまめにお子様の頭髪を確認してください。

【保護者の方へのお願い】

- ★お子様の頭髪を必ずご確認ください。
- ★アタマジラミや卵が見つかったら、完全になくなるまできちんと駆除してください。
- ★アタマジラミや卵が見つかったら、学校にもご連絡ください。

学校薬剤師 美崎先生からのアドバイス

毛じらみの治療のポイントは以下の4点です。



①続けよう

薬で駆除できるのは幼虫と成虫です。

卵が全て無くなるまでしっかり治療を続けないと再発してしまいます。

②みんなでやろう

毛じらみは人から人へ接触することで何度でもうつります。接触する可能性のある家族などは皆一緒に治療しないと、家族内で行ったり来たり…ということもあります。

③衣服にはアイロンをかけよう

衣服を介して感染することもあります。熱に弱い生き物ですので、アイロンをかけてしっかり駆除するとともに、こまめに交換するよう心がけましょう。

④ゴミは丁寧に処理しよう

ゴミについた成虫が、他の人にうつることもあります。くしですいて出たゴミはビニールの中に入れしっかり縛ってから捨てましょう。

※ここで1つ注意！ 過去には髪の毛を短く切って対応していた時代がありますが、他の部位や他の人への感染を起こしやすくなるので、現在は薬での駆除が推奨されています。(髪の毛を切るだけではダメ! 薬での駆除と併用しましょう)

アタマジラミってなに？

人の頭髮に寄生する3mmほどの灰色の吸血性の虫です。刺されるとかゆみを感じます。(数が少ない時はかゆみを感じにくい場合もある。) 帽子やくし、タオルの貸し借りや、直接頭を接触することで頭髮から頭髮へうつっていくので、清潔にしている場合でも寄生することはあります。



卵は髪の毛の根元の方(頭皮から3～4mm程度離れた部分)につきます。しずくのような形についているのが特徴です。ふけは指ですくと取れますが、卵はしっかりとついているため取れません。やや光沢があり、立体感があります。

駆除するためには？ ～ポイントは**継続**と**こまめに行うこと**です～

しらみや卵を見つけたら、駆除薬を使う・卵をすきとる・熱湯消毒をするのが基本です。

↑
目の細かいくしを使って髪をとかして、髪の毛についている卵をとる

【薬を使う】

- ・頭髮をスミスリンシャンプー（薬局で購入できます）で洗います。用量、回数をよく読み正しく使うことが大切です。途中でやめず、成虫や卵がなくなるまできちんと行ってください。
- ・家族全員で対応することをおすすめします。

スミスリンはふ化した幼虫と成虫を駆除します。完全になくなるまで使用を続けてください。卵の殻は付属のくしですくと取ることができます。

【熱湯消毒】

布についたシラミは60度前後の熱にさらすと10分くらいで死にます。タオル、枕カバーなどはこまめに洗い、熱湯に浸すか、アイロンをかけるとその熱で駆除できます。

～予防のために日頃から心がけたいこと～

- くしやタオルの共用はしない。
- 枕カバー、シーツ、肌着などはまめに取りかえる。(アイロンをかけるとよい。)